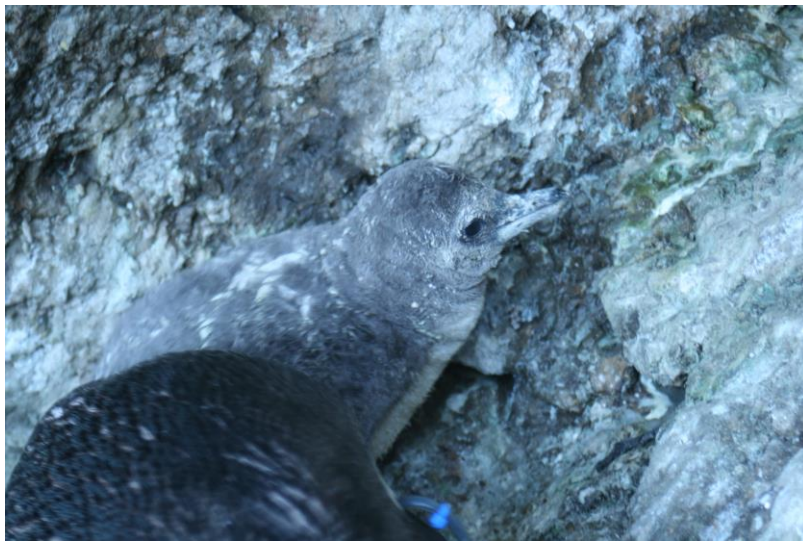


ケープペンギン・フンボルトペンギンの 雛が4羽誕生しました。

伊豆・三津シーパラダイス（住所：静岡県沼津市 支配人：植田行宏）では、飼育しているケープペンギン・フンボルトペンギンの雛が11月の中旬から誕生し始め、親に守られながら、すくすくと成長しています。



記

展示場所：自然飼育場 ペンギン舎・洞窟

種類：ケープペンギン・フンボルトペンギン

雛について

ケープペンギン

- 17-子-4 親：ミオ（♀）×656（♂）
産卵日：10/12 孵化日：11/19 体重：1/2 現在 2460g
- 17-子-5 親：プリッツ（♀）×ウミ（♂）
産卵日：10/19 孵化日：11/28 体重：1/2 現在 1986g

フンボルトペンギン

- 17-子-13 親：イオン（♀）×サミー（♂）
産卵日：10/12 孵化日：11/21 体重：1/4 現在 2476g
- 17-子-15 親：ポポ（♀）×ジョニー（♂）
産卵日：10/22 孵化日：12/3 体重：1/4 現在 1149g

1) ケープペンギンについて

体長約 70cm 体重約 4kg。アフリカ大陸に生息する唯一のペンギンで、主にカタクチイワシのほか、イカやタコ、甲殻類なども食べる。地面に穴を掘ったり、地表面、岩陰、木の茂みや民家の軒下などに小枝を集めたりして巣を作る。ケープペンギンの生息する南アフリカの南端は、タンカーの航路にもなっており、重油流出事故により生息数が減少、絶滅が心配されている。IUCN のレッドリストでは EN（絶滅危惧種）に指定される。

2) フンボルトペンギンについて

体長約 70cm 体重約 4kg。チリとペルーの海岸、沿岸の島々に生息するペンギンで、繁殖地は南米の乾いた大地で行われる。そのため、温帯性気候の日本は生息地の環境に近い
ため暮らしやすいと言えます。

※ 生き物の状態により、急きょ展示ができなくなる場合がございます。

以 上